

経営比較分析表（令和元年度決算）

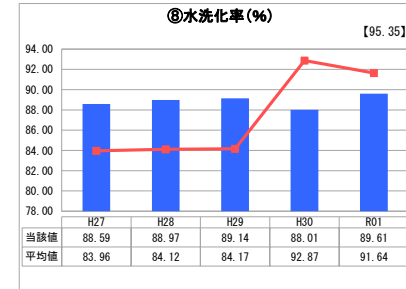
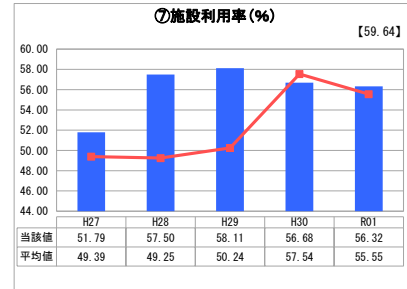
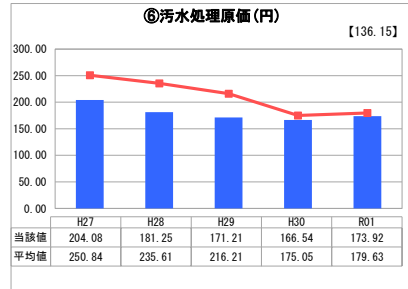
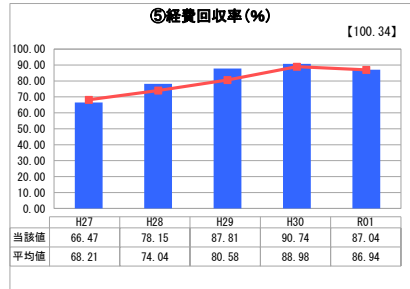
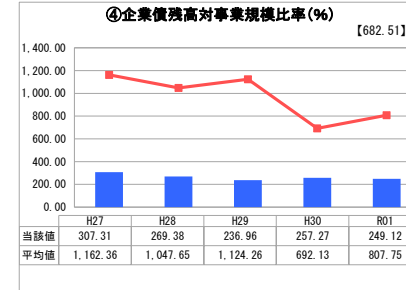
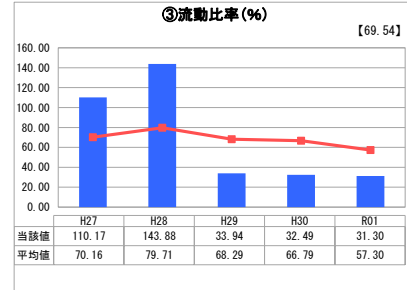
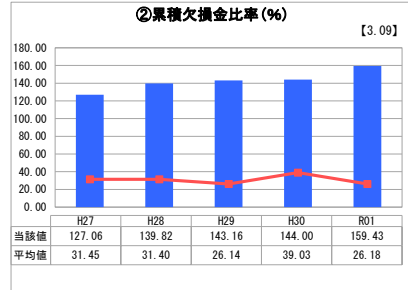
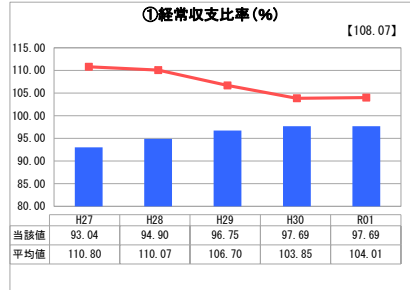
岡山県 美作市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	58.65	30.72	91.18	3,223

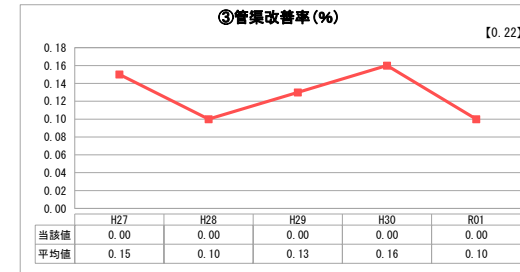
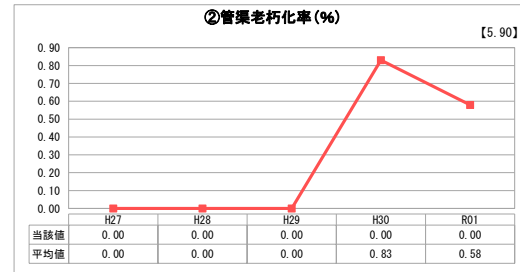
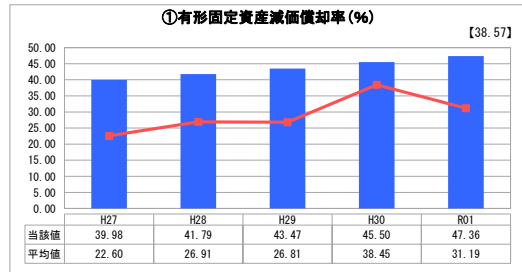
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
27,359	429.29	63.73
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,355	4.38	1,907.53

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率が前年度対比増減なしの要因は、主に企業債利息及び使用料収入が減少した結果である。
- ② 欠損金に係る累積欠損金比率が前年度対比で15.43ポイント増加している要因は、一般会計繰入金を現金ベースで算定しており、現金支出を伴わない減価償却費相当額の一部が繰入金で手当てされなかったためである。
- ③ 流動比率が前年度対比で1.19ポイント減少している要因は、年度末工期の建設事業費が例年より多かったことにより、未払金（流動負債）が増加したためである。
- ④ 企業債残高対事業規模比率が前年度対比8.15ポイント減少している要因は、面整備が終了し企業債償還が進んでいるためである。
- ⑤ 汚水処理費に係る経費回収率が前年度対比で3.7ポイント減少している要因は、使用料収入が減少したためである。
- ⑥ 汚水処理費に係る汚水処理原価が前年度と比べ7.38円増加している要因は、汚水処理費が増加し、かつ年間有収水量が減少したためである。
- ⑦ 処理水量等に係る施設利用率が前年度対比で0.36ポイント減少している要因は、晴天時の処理水量が減少したためである。
- ⑧ 水洗化人口に係る水洗化率が前年度対比で1.6ポイント増加している要因は、人口減少するも新規水洗化人口の増加要因が多かったためである。

2. 老朽化の状況について

- ① 資産の減価償却に係る有形固定資産減価償却率が前年度対比で1.86ポイント増加している要因は、減価償却が進んだものである。
- ② ③ 管渠老朽化率が0%で推移している要因は、指標となる管渠の経年化が法定耐用に達していないためである。

全体総括

施設等の老朽化により、今後更新時期の到来に伴う建設改良費等の経費が発生することから、事業間の処理場統廃合を計画・実行し処理場管理費等経費削減を行っている。
今後必要となる設備更新費用に係る財源確保のためストックマネジメント計画を策定している。計画に基づき適切に設備を更新し、安定的な下水道事業運営を目指している。
(平成27年2月に美作市下水道事業中期経営計画、平成27年8月に改訂版を策定済)
また、平成28年10月から下水道使用料改正（市内統一）を行った。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

経営比較分析表（令和元年度決算）

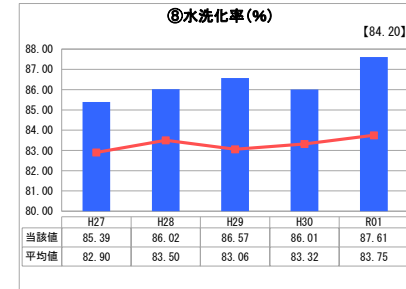
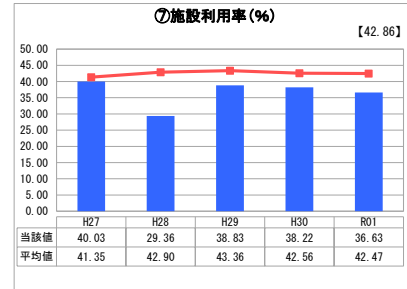
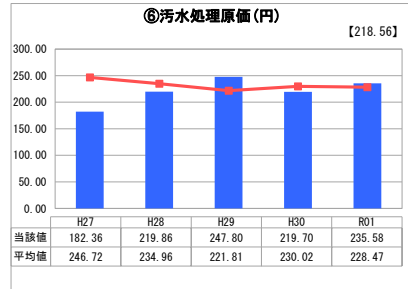
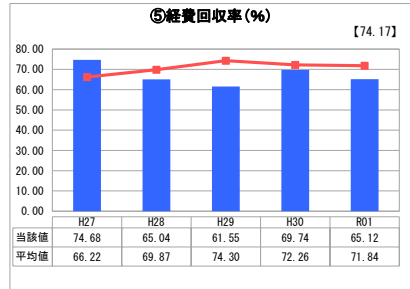
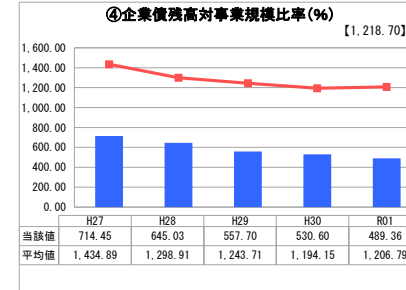
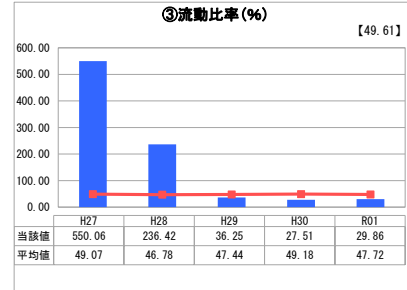
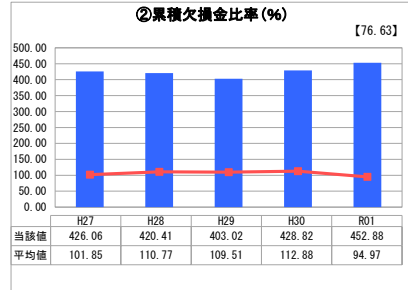
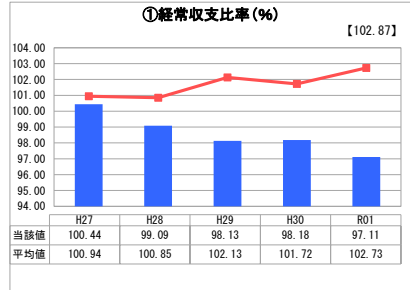
岡山県 美作市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	60.61	52.43	100.00	3,223

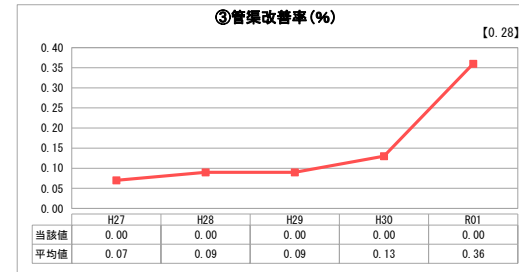
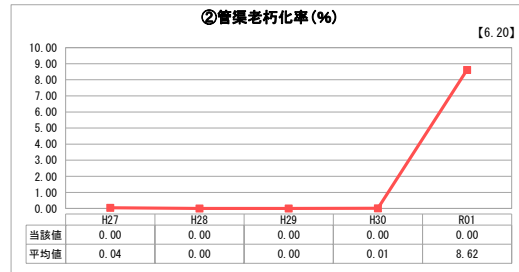
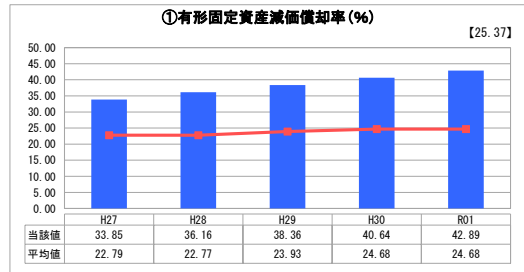
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
27,359	429.29	63.73
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
14,257	7.94	1,795.59

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率が前年度対比で1.07ポイント減少している要因は、使用料収入の減少及び管渠及び処理場の維持管理に要する経費が増加したためである。
 ② 欠損金に係る累積欠損金比率が前年度対比で24.06ポイント増加した要因は、一般会計繰入金を現金ベースで算定しており、現金支出を伴わない減価償却費相当額の一部が繰入金で手当てされないためである。
 ③ 流動資産及び流動負債に係る流動比率が前年度対比で2.35ポイント増加している要因は、受託工事に係る未収金が増加したためである。
 ④ 企業債残高対事業規模比率が前年度対比で41.24ポイント減少している要因は、面整備終了により企業債償還が進んでいるためである。
 ⑤ 汚水処理費に係る経費回収率が前年度対比で4.62ポイント減少している要因は、使用料収入が減り、かつ処理場修繕費など増加により汚水処理費が増加したためである。
 ⑥ 汚水処理費に係る汚水処理原価が前年度と比べ15.88ポイント増加している要因は、修繕費などの汚水処理費が増加し、かつ年間有収水量が減少したためである。
 ⑦ 処理水量等に係る施設利用率が前年度対比で1.59ポイント減少している要因は、晴天時の処理水量が減少したためである。
 ⑧ 水洗化人口に係る水洗化率が前年度対比で1.6ポイント増加している要因は、人口減少するも水洗化人口の減少幅が少なかったためである。

2. 老朽化の状況について

① 資産の減価償却に係る有形固定資産減価償却率が前年度対比で2.25ポイント増加している要因は、減価償却が進んだためである。
 ② ③ 管渠老朽化率が0%で推移している要因は、指標となる管渠の経年数が法定耐用年数に達していないためである。

全体総括

施設等の老朽化により、今後更新時期の到来に伴う建設改良費等の経費が発生することから、事業間の処理場統廃合を計画・実行し処理場管理費等経費削減を行っている。
 今後必要となる設備更新費用に係る財源確保のためストックマネジメント計画を策定している。計画に基づき適切に設備を更新し、安定的な下水道事業運営を目指している。
 （平成27年2月に美作市下水道事業中期経営計画、平成27年8月に改訂版を策定済）
 また、平成28年10月から下水道使用料金改正（市内統一）を行った。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

経営比較分析表（令和元年度決算）

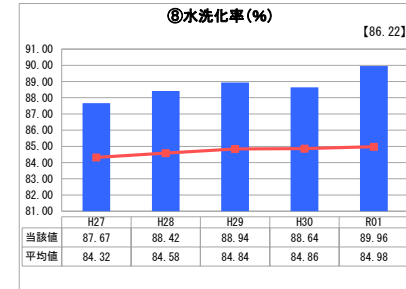
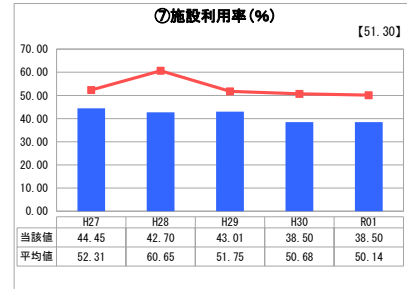
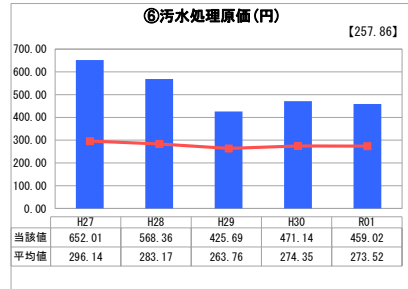
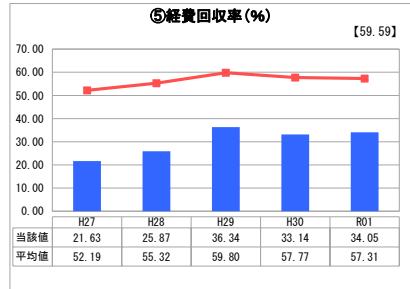
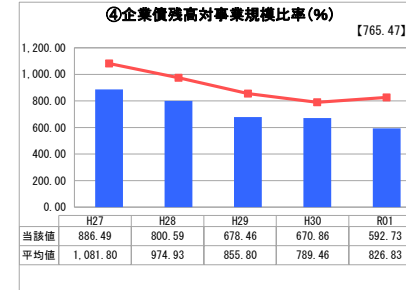
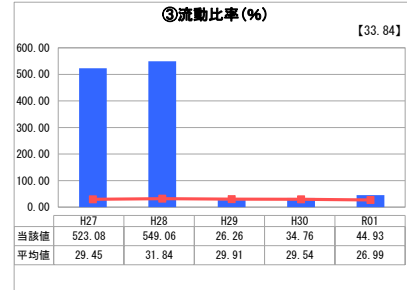
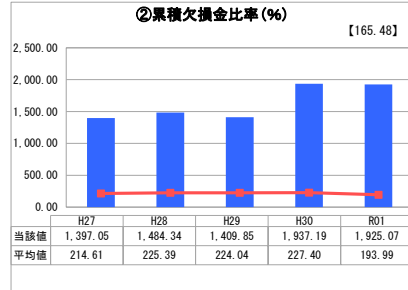
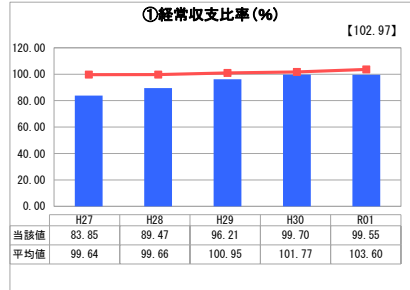
岡山県 美作市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	67.06	11.46	103.07	3,223

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
27,359	429.29	63.73
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,117	2.59	1,203.47

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

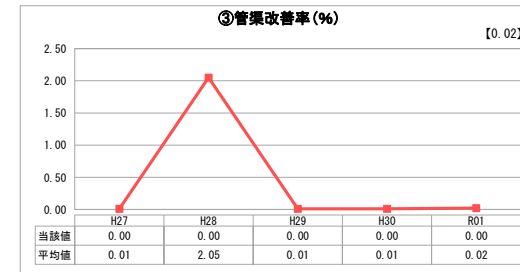
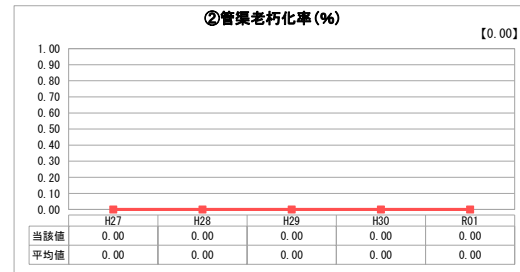
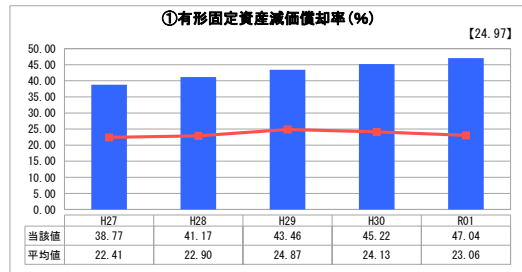
1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率が前年度対比で0.15ポイント減少している要因は、減価償却費や支払利息が減少し、財源の一般会計繰入金が増加した結果である。
 ② 欠損金に係る累積欠損金比率が前年度対比で12.12ポイント減少している要因は、使用料収入が増加したためである。
 ③ 流動資産及び流動負債に係る流動比率が前年度対比で10.17ポイント増加している要因は、企業債償還完了の影響で流動負債が減少したためである。
 ④ 営業収益に係る企業債残高対事業規模比率が前年度対比78.13ポイント減少している要因は、償還が完了し企業債残高が減少したためである。
 ⑤ 汚水処理費に係る経費回収率が前年度対比で0.91ポイント増加している要因は、使用料収入の増及び汚水処理費が減少したためである。
 ⑥ 汚水処理費に係る汚水処理原価が前年度と比べ12.12円減少している要因は、汚水処理費が減少し年間収水量が増加したためである。
 ⑦ 処理水量等に係る施設利用率が前年度対比増減なしの要因は、晴天時平均処理水量に大きな変動が無かったためである。
 ⑧ 水洗化人口に係る水洗化率が前年度対比1.32ポイント増加している要因は、人口減少するも水洗化人口の減少幅が少なかったためである。

2. 老朽化の状況について

① 資産の減価償却に係る有形固定資産減価償却率が前年度対比1.82ポイント増加している要因は、減価償却が進み減価償却累計額の増加によるものである。
 ② ③ 管渠老朽化率が0%で推移している要因は、指標となる管渠の経年数が法定耐用年数に達していないためである。

2. 老朽化の状況



全体総括

施設等の老朽化により、今後、更新時期の到来及び多施設を保有していることに伴う建設改良費等の経費が発生することから、事業間の処理場統合を計画・実行し処理場管理費等経費削減を行っている。処理場統合できない処理施設では今後の設備更新費用に係る財源確保のため、機能診断を行い更新計画を策定する予定である。計画に基づき適切に設備を更新し、安定的な下水道事業運営を目指すとしている。(平成27年2月に美作市下水道事業中期経営計画、平成27年8月に改訂版を策定済)また、平成28年10月から下水道使用料金改正(市内統一)を行った。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

経営比較分析表（令和元年度決算）

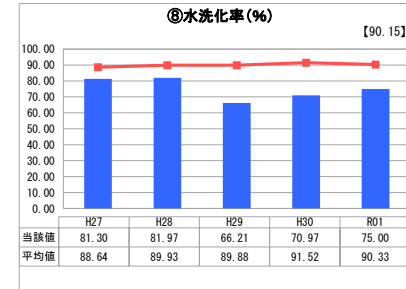
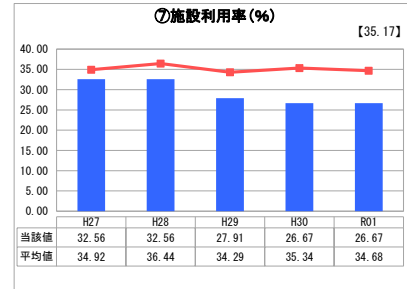
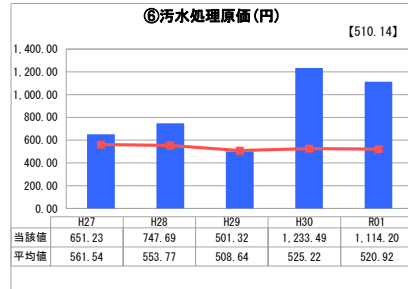
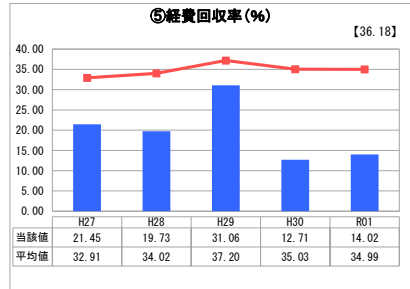
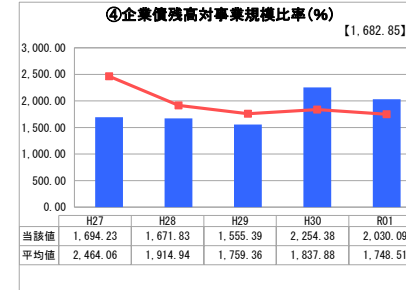
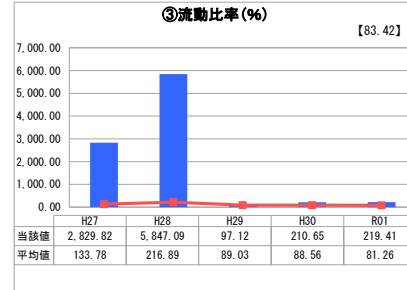
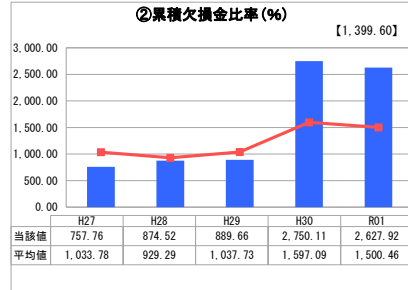
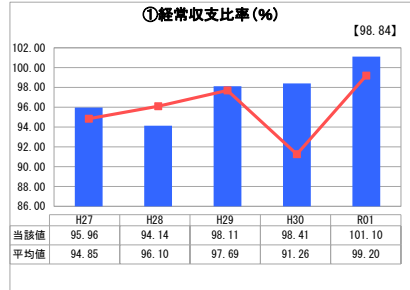
岡山県 美作市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	小規模集合排水処理	12	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	36.23	0.22	100.00	3,223

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
27,359	429.29	63.73
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
60	0.02	3,000.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率が前年度対比2.69ポイント増加している要因は、処理場維持管理経費が予定していたより少額となり経常経費が減少したためである。
 ②欠損金に係る累積欠損金比率が前年度対比122.19ポイント減少している要因は、前記収支によるものである。
 ③流動資産及び流動負債に係る流動比率が前年度対比8.76ポイント増加している要因は、収支の結果流動資産が増加したためである。
 ④営業収益に係る企業債残高対事業規模比率が前年度対比224.29ポイント減少している要因は、企業債の償還が進み企業債残高が減少したためである。
 ⑤汚水処理費に係る経費回収率が前年度対比1.31ポイント増加している要因は、汚水処理経費が減少したためである。
 ⑥汚水処理費に係る汚水処理原価が前年度と比べ119.29円減少している要因は、汚水処理経費の減少及び有収水量が増加したためである。
 ⑦処理水量等に係る施設利用率が前年度対比増減なしの要因は、晴天時の処理水量に前年度と大きな変化がなかったためである。
 ⑧水洗化人口に係る水洗化率が前年度対比4.03ポイント増加している要因は、人口減少するも水洗化人口の減少幅が少なかったためである。

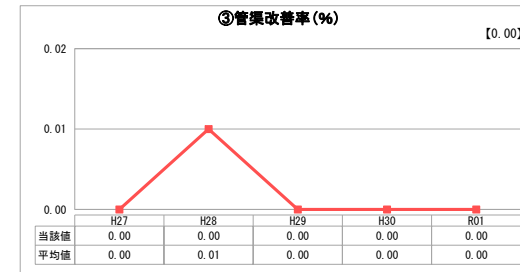
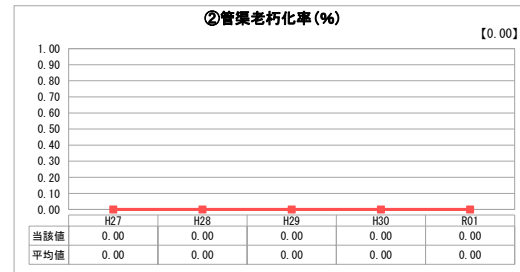
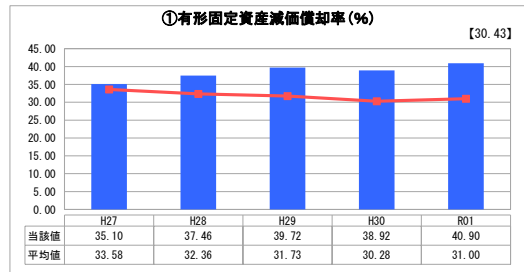
2. 老朽化の状況について

①資産の減価償却に係る有形固定資産減価償却率が前年度対比1.98ポイント増加している要因は、減価償却が進み減価償却累計額の増加によるものである。
 ②③管渠老朽化率が0%で推移している要因は、指標となる管渠の経年数が法定耐用年数に達していないためである。

全体総括

施設等の老朽化により、今後、更新時期の到来及び多施設を保有していることに伴う建設改良費等の経費が発生することから、事業間の処理場統合を計画・実行し処理場管理費等経費削減を行っている。
 （平成27年2月に美作市下水道事業中期経営計画、平成27年8月に改訂版を策定済）
 また、平成28年10月から下水道使用料金改正（市内統一）を行った。

2. 老朽化の状況



※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

経営比較分析表（令和元年度決算）

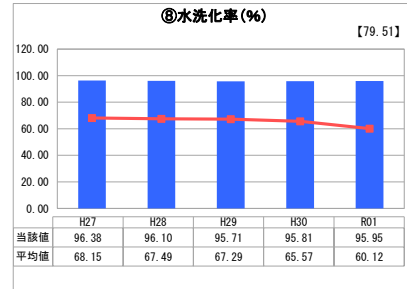
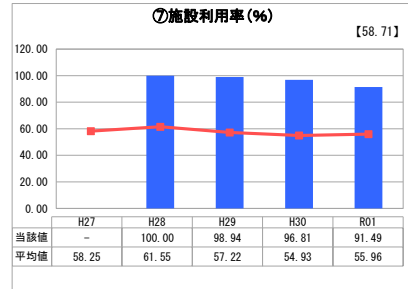
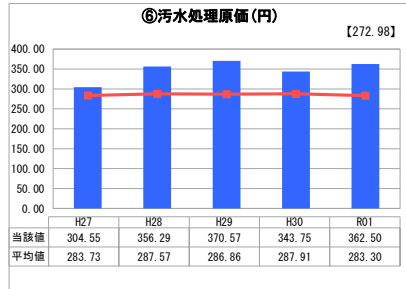
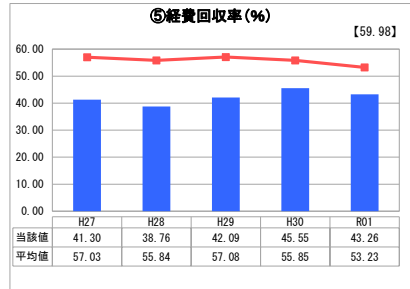
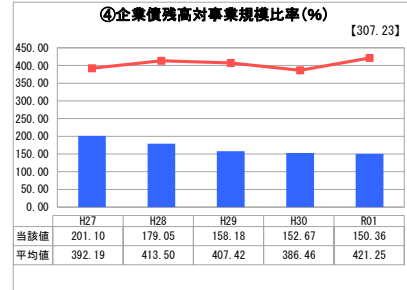
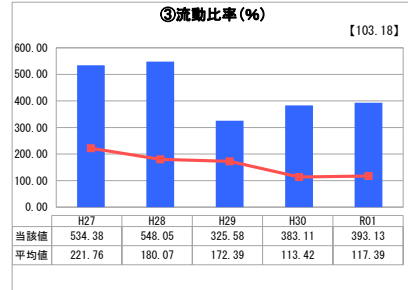
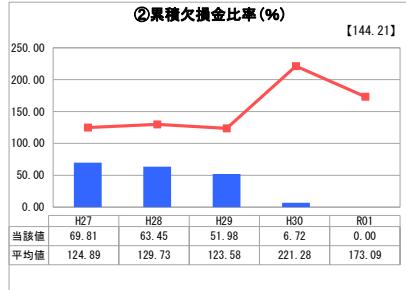
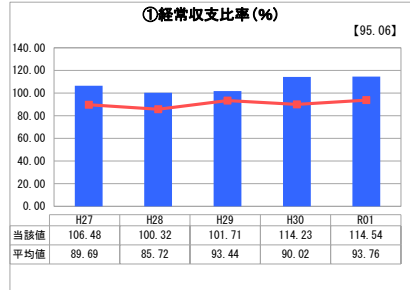
岡山県 美作市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	37.12	1.36	100.00	3,223

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
27,359	429.29	63.73
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
370	0.08	4,625.00

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

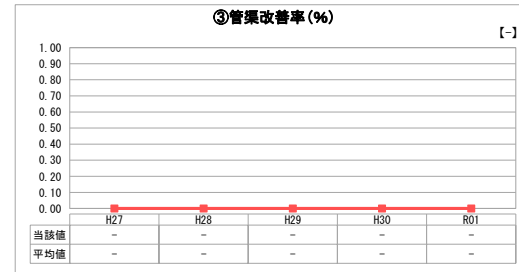
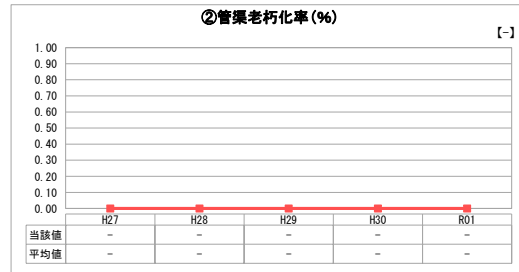
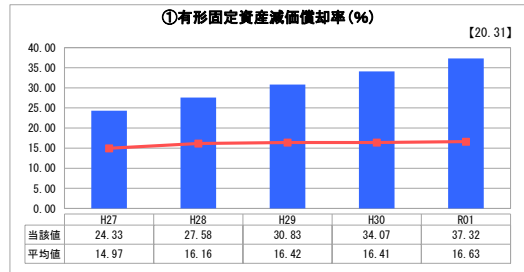
1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率が前年度対比0.31ポイント増加している要因は、維持管理経費が予定していたより少額となり経常経費が減少したためである。
 ②欠損金に係る累積欠損金比率が前年度対比6.72ポイント減少している要因は、経常経費の減少に伴い当年度未処理欠損金が減少したためである。
 ③流動資産及び流動負債に係る流動比率が前年度対比10.02ポイント増加している要因は、保有現金の増加に伴い流動資産が増加したためである。
 ④営業収益に係る企業債残高対事業規模比率が前年度対比2.31ポイント減少している要因は、企業債残高の減少によるものである。
 ⑤汚水処理費に係る経費回収率が前年度対比2.29ポイント減少している要因は、使用料収入が減少したためである。
 ⑥汚水処理費に係る汚水処理原価が前年度と比べ18.75円増加している要因は、使用料収入の減少及び汚水処理経費の増加によるものである。
 ⑦当該値「H27 - 」は「H27 102.12」と訂正。処理水量等に係る施設利用率が前年度対比5.32ポイント減少している要因は、晴天時平均処理水量が減少したためである。
 ⑧水洗化人口に係る水洗化率が前年度対比0.14ポイント増加している要因は、人口減少するも水洗化人口の減少幅が少なかったためである。

2. 老朽化の状況について

①資産の減価償却に係る有形固定資産減価償却率が前年度対比3.25ポイント増加している要因は、減価償却累計額の増加によるものである。

2. 老朽化の状況



全体総括

平成28年10月から下水道使用料改正(市内統一)を行い収益が増加したが、今後は人口減少に伴い料金収入の減少が見込まれることから、さらなる経費等の削減に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

経営比較分析表（令和元年度決算）

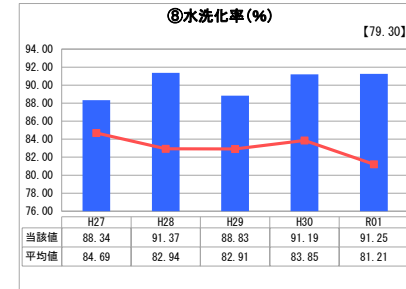
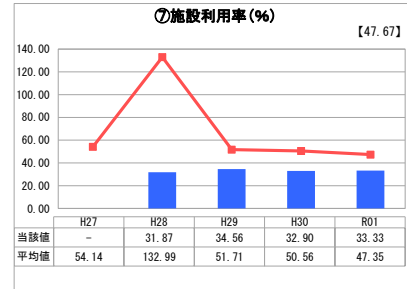
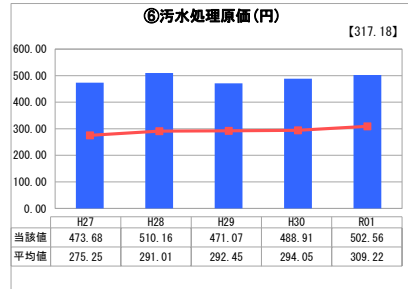
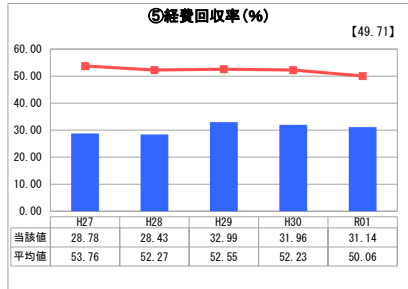
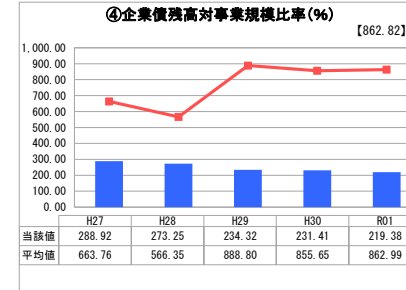
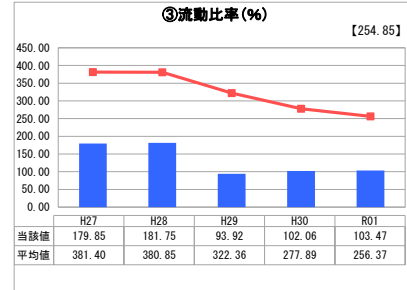
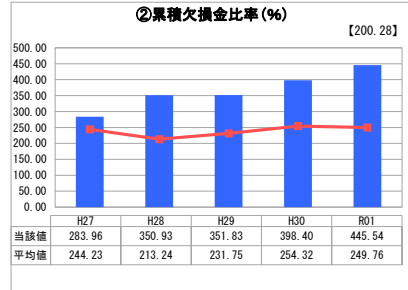
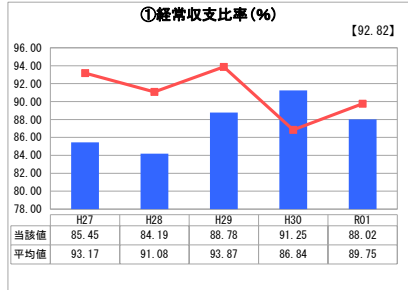
岡山県 美作市

業種名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	6.91	1.85	100.00	3,223

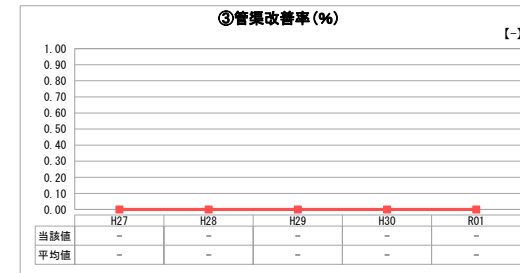
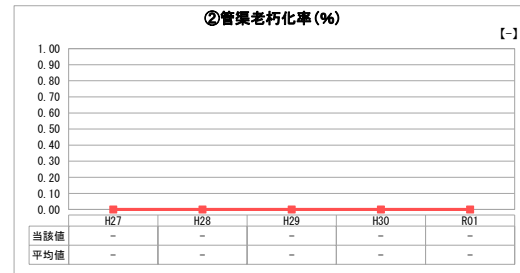
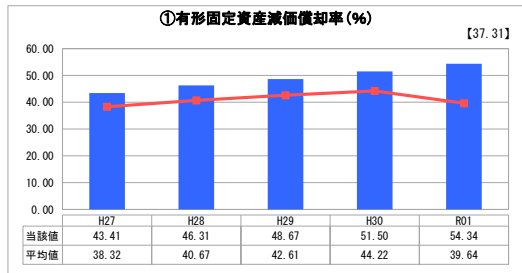
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
27,359	429.29	63.73
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
503	0.15	3,353.33

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率が前年度対比3.23ポイント減少している要因は、施設維持管理費等の汚水処理費が増加したためである。
 ② 欠損金に係る累積欠損金比率が前年度対比47.14ポイント増加している要因は、一般会計繰入金を現金ベースで算定しており、現金支出を伴わない減価償却費相当額の一部が繰入金で手当てされなかったためである。
 ③ 流動資産及び流動負債に係る流動比率が前年度対比1.41ポイント増加している要因は、保有現金の増加に伴い流動資産が増加したためである。
 ④ 営業収益に係る企業債残高対事業規模比率が前年度対比12.03ポイント減少している要因は、企業債残高の減少によるものである。
 ⑤ 汚水処理費に係る経費回収率が前年度対比0.82ポイント減少している要因は、使用料収入が微増したものの、汚水処理経費が増加したためである。
 ⑥ 汚水処理費に係る汚水処理原価が前年度と比べ13.65円増加している要因は、汚水処理費が増加したためである。
 ⑦ 当該値「H27 - 」は「H27 32.90」と訂正。
 ⑧ 水洗化率等に係る施設利用率が前年度対比0.43ポイント増加している要因は、晴天時平均処理水量が増加したためである。
 ⑨ 水洗化人口に係る水洗化率が前年度対比0.06ポイント増加している要因は、人口減少するも水洗化人口の減少幅が少なかったためである。

2. 老朽化の状況について

① 資産の減価償却に係る有形固定資産減価償却率が前年度対比2.84ポイント増加している要因は、減価償却累計額の増加によるものである。

全体総括

平成28年10月から下水道使用料金改正(市内統一)を行い収益が増加したが、今後は人口減少に伴い料金収入の減少が見込まれることから、さらなる経費等の削減に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。